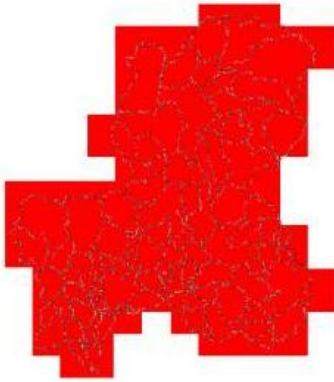


ナツエビネ	<i>Galanthe pubebrula</i> Lindl. var. <i>refexa</i> (Maxim.) M. Hiroe	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		ラン科
選定理由	目立つ綺麗な花なので園芸目的の採取圧がある。	写真(後藤常明)
形態の特徴	高さは20-40cm。葉は狭長楕円形で3-5枚付く。淡紫色または淡青色の花を穂状に多数付ける。唇弁は3裂し、中裂片は先が尖る。球形の偽球茎がある。花期は8月。	
生態的特徴	山地の湿気た所に生える。	
分布状況	本州、九州、四国に分布する。岐阜県では美濃地方北部と飛騨地方南部に分布する。	
減少要因	園芸目的の採取による。	
保全対策	採取の禁止。分布情報は公表しないことが望ましい。	
特記事項	夏に咲くのでナツエビネと名前が付く。	
参考文献		※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責:山崎玲子